

様式 1

研究報告書（平成 26 年度）

提出者 一宮 真佐子

提出年月日 2015 年 3 月 31 日

【本ユニットにおける研究テーマ】

和文 高度成長期以降の日本社会における農業・農村地域イメージ—蔑視と賛美—

英文 The images of agriculture and rural area in Japanese society after the period of rapid economic growth;
disdain and praise

【研究のねらいと目的】（600 字程度）

これまでの研究においては、主として行政およびポピュラーカルチャー（マンガ）における農業・農村表象の解明をテーマとしてきた。特に今後は研究蓄積の浅い後者を深めることを主眼としたい。表象を通じて「農村性 Rurality」を明らかにするというのが研究の大目的である。

農村性とはいわゆる「農村らしさ」であり、必ずしも現実の農村を直接表すだけではなく、農業や農村に対する外部からの期待や欲望が含まれている。こういった側面は、それらにまつわる表象を研究することでより鮮明に浮かび上がってくると考えられる。

また一方で、農業や農村地域、農家に対する蔑視も根強く存在する。農業従事者を示す「百姓」という呼称の使用に関する問題だけでもそれははっきり示されているが、近年では外国人労働者の問題にも関わっている。農業や水産業で日本人従事者の不足により外国人研修生や労働者が激増しており、待遇面の問題や事件も発生しているが、そこには外国人差別だけでなく、第一次産業に対する差別的意識が影響しているのではないだろうか。

今年度の研究では、高度成長期後の日本社会において農業・農村に対する蔑視と賛美がどのような形で現れているのか、農業政策と絡めつつポピュラーカルチャー（マンガ）を分析対象として明らかにしたい。これまでの研究では近年の農業・農村賛美の傾向や農村社会や家族の中での女性蔑視に力点を置いていたが、今年度は日本社会の中での農業・農村差別という、より大きな構造についての先行研究の整理と、これまでの自分自身の研究成果との比較を行いたい。単純に蔑視から賛美へという変遷ではなく、両者が混在し、国内外の状況、時期によってその強弱が変化してきたと考えられるので、それぞれの潮流と相互関係を明らかにしたい。

【研究業績】 学会報告・論文など

・ 共著論文

一宮真佐子「マンガにおける農村の「性」とジェンダー—「むら」のファンタジー—」、小山静子・赤枝香奈子・今田絵里香編『セクシュアリティの戦後史』、287-309、京都大学学術出版会、2014 年 7 月 28 日

・ 口頭報告

Akitsu, M. and Ichinomiya, M. Social Construction of the Rural in Contemporary Japan and Korea, The Future of Rural Societies and Landscapes in East Asia Exploratory Workshop, 総合地球環境学研究所、2014 年 7 月 25 日

【成果の概要】（800字程度）

本年度はまず、共著論文の校正作業を行い、内容をより精緻化して出版に至った。本論文はマンガ作品の中で日本農村における性（セクシュアリティ）に関する描写を分析し、「むら」のジェンダー規範とどのような関係にあるかを論じたものである。それによって高度成長期後の日本のポピュラーカルチャーメディアにおける、農村という空間や「むら」の社会・人間関係の社会的イメージ（表象）と、その変容について考察を行っている。特に、1990年代後半から、それまでは農村を描く際には排除されていたセクシュアルマイノリティが複数の作品で登場してくることに着目し、農村でのセクシュアリティに関する規範や社会関係においてより多様なあり方が描かれるようになってきたという変容がみられるが、その受容においては過去のジェンダーや家族に関する異性愛規範に準じる形で行われていることを明らかにした。

7月に行われたワークショップの口頭報告では、前半では高度成長期後の日本の農村が、マンガというメディアの中でどのように描かれてきたか、またそれが社会全体からの農業や農村に対するニーズとどのように関係しているかについて述べた。後半では、韓国のマンガ（日本マンガと類似したメディア）作品における、韓国農村の描写を取り上げ、韓国と日本の、それぞれ自国の農村描写（農村の社会的位置づけ）の違いについて論じた。今回の報告では韓国の農村イメージに関する分析が十分ではなかったため、それは今後の研究の課題としたいと考えている。

また、これまでの研究成果をまとめるに当たって、過去の日本の農業・農村政策（農業農村整備事業）の結果や、農業や農村イメージに関する研究・文献に関する追加調査や資料整理などを行った。それらに基づき、博士論文を執筆、現在修正作業を行っている。

【通信欄】



The Future of Rural Societies and Landscapes in East Asia Exploratory Workshop, (総合地球環境学研究所、2014年7月25日)